



自衛隊栃木地方協力本部

栃木県防衛協会大田原支部防衛講話



玉木支部長と本部長

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 松田 陸尉）は、12月5日（金）、大田原市トコトコ大会議室において、栃木県防衛協会大田原支部（支部長・玉木 茂氏）防衛講話を支援した。

当日は、栃木地本長による防衛講話「安全保障環境と自衛隊の取り組み」が、約50分間行われ、大田原支部会員28名が聴講した。

講話終了後の質疑応答の時間においては、多くの質問が寄せられるなど盛況のうちを終了し、玉木支部長からは「今後も防衛意識を高めるとともに、自衛隊を支援していきたい」と熱いお言葉をいただいた。その後の懇親会においては、大田原地域事務所長が大田原管内の厳しい募集状況を周知するとともに、自衛官募集についてもポスター掲示等の協力をお願いした。

大田原地域事務所は、「今後も、防衛協会大田原支部と連携し、「地域密着型」の広報で募集広報の強化を図っていく」としている。



玉木支部長のあいさつ



本部長講話の様子



令和七年度百里基地航空祭に参加して ～偶然の再会に感激！！～

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 松田 陸尉）は12月7日（日）、航空自衛隊百里基地で実施された令和七年度百里基地航空祭に募集対象者を引率した。

当日は、百里基地に多くの来場者が訪れていた。参加した学生は、特にブルーインパールの飛行展示に感銘を受け、心に残る見学になったようであった。

引率した平井広報官は、基地内で高等工科大学のPRをしていた小林生徒（高等工科大学2学年）から「平井さん」と声を掛けられ、とても驚いたという。小林生徒は、平井広報官が入校まで担当した一人であり、高等工科大学・和太鼓部の演奏披露のために今回百里基地を訪れていた。偶然再会した平井広報官は「頑張ってるかい？」と声を掛けるとともに凛々しい制服姿、元気な姿に感動を覚えた。小林生徒からは、「年末の帰省時に学校を訪問したいので、よろしくお願いします」と、またの再会を約束した。

大田原地域事務所は、「今後も、各種のイベントを活用し、募集広報を積極的に実施していくとともに、入校者に対するアフターフォローを継続し、入校者たちのリアルな言葉を発信できるよう努めていく」としている。



百里基地航空祭見学の様子



小林生徒と偶然の再会